

HTLV-1に関する啓発について

【背景】

「ヒトT細胞白血病ウイルス1型」（HTLV-1）に感染しても、そのほとんどの人が生涯病気を発症しないため、疾患そのもののへの関心が持たれにくいという現状がある。医療従事者の間でもHTLV-1の認知度は低いため、HTLV-1関連疾患である「ATL」や、「HAM」の診断が遅れてしまうこともある。若者から中高年までの幅広い層に向けて、このウイルスに関する正しい認知を広める必要がある。

【目的】多くの国民のHTLV-1への認知拡大と理解促進

【対象】一般国民

体内細胞擬人化TVアニメ「はたらく細胞」を起用した啓発ポスター・リーフレットを作成

「はたらく細胞」は、体内細胞擬人化漫画で、2018年7月にTVアニメ化もされた作品。ヘルパーT細胞がHTLV-1に感染することで異常を起こし、「ATL」や「HAM」を発症させると言われているため、擬人化したヘルパーT細胞のキャラクターが呼びかける構図とした。ポスター(約3,200部)とリーフレット(約13万部)を全国の自治体・保健所などへ配布。



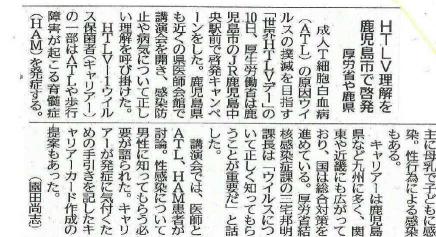
清水茜／講談社・アニプレックス・davidproduction

使用期間：2018/3-2018/12

街頭での啓発キャンペーンを開催

厚生労働省は、日本HTLV-1学会が制定した「世界HTLVデー」11月10日にあわせて、HTLV-1の認知拡大と理解促進を目的に、鹿児島県と共に、街頭キャンペーンを鹿児島中央駅にて開催した。

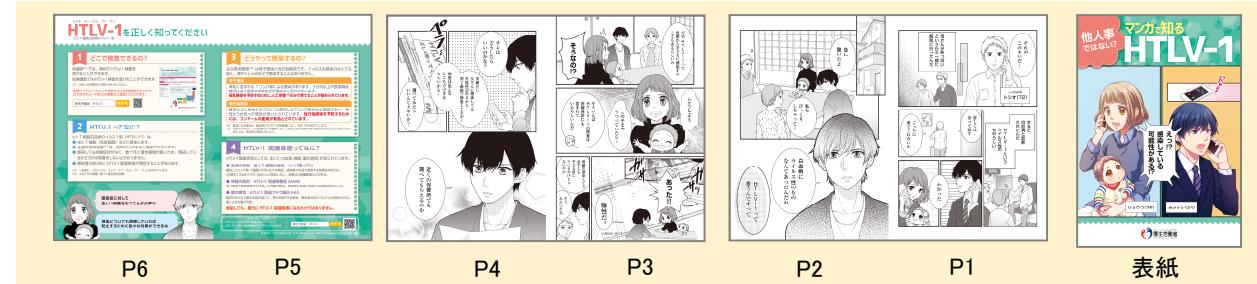
【30.11.11 南日本新聞 朝刊】



オリジナル啓発マンガを作成

オリジナルマンガを作成し、ウェブサイトやSNSなどを通じた情報発信を行った。

オリジナルマンガは2018年11月9日から厚生労働省ウェブサイトでダウンロード可能。



啓発マンガイメージ

■HTLV-1啓発オリジナルマンガ ダウンロード先
【厚生労働省 HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）に関する情報】
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou29/>

